

鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 (平成19年法律第134号)の概要

目的

鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための施策を総合的かつ効果的に推進し、もって農林水産業の発展及び農山漁村の振興に寄与

内容

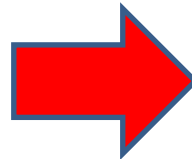
基本指針の作成(農林水産大臣)(法3条)

- 1 被害防止施策の実施に関する基本的な事項
 - ① 被害の状況、鳥獣の生息状況等の調査及び被害原因の究明
 - ② 鳥獣の捕獲等
 - ③ 侵入防止柵の設置等による被害防止
 - ④ 人材育成
 - ⑤ 生息環境の整備及び保全等
- 2 被害防止計画に関する事項
- 3 その他被害防止施策を総合的かつ効果的に実施するために必要な事項

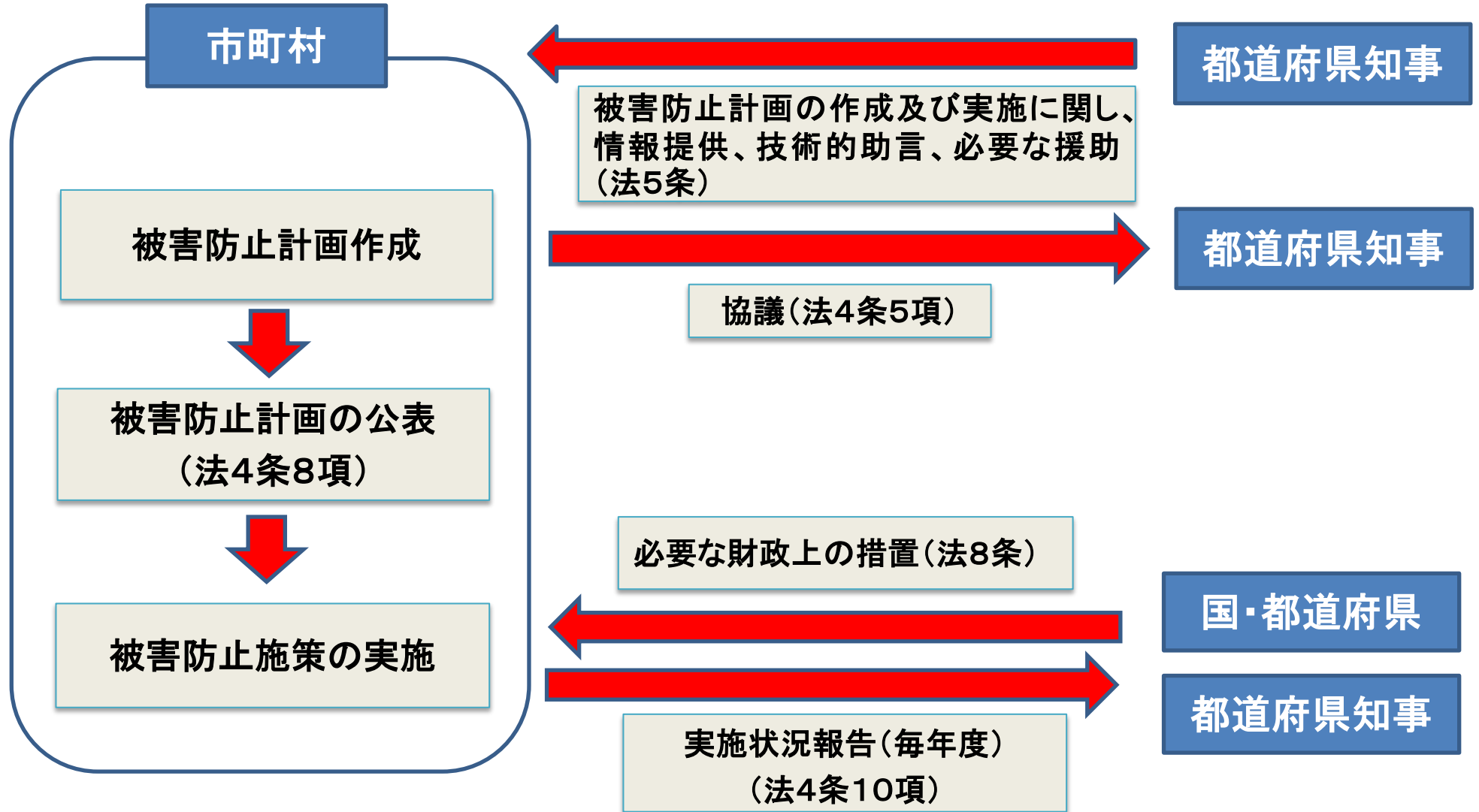
被害防止計画の作成(市町村等)(法4条)

基本指針に即して作成

- ① 被害の防止に関する基本的な方針(被害の軽減目標等)
 - ② 被害防止計画の対象鳥獣
 - ③ 被害防止計画の期間
 - ④ 対象鳥獣の捕獲に関する事項(鳥獣捕獲計画)
 - ⑤ 防護柵の設置等捕獲以外の被害防止施策に関する事項(侵入防止柵の設置、鳥獣のえさ場や隠れ場所の除去等)
 - ⑥ 被害防止施策の実施体制に関する事項(協議会(注)、鳥獣被害対策実施隊の設置)
 - ⑦ 捕獲した対象鳥獣の処理に関する事項等
- (注) 協議会とは、鳥獣被害防止特措法第4条の2に基づき設置された市町村、農業者団体等で構成される合議体組織で、被害防止計画の策定への関与、基本的な被害防止計画の取組等を行うものである。



市町村の被害防止計画作成等の流れ



鳥獣被害防止総合対策交付金

野生鳥獣による被害の深刻化・広域化に対応し、地域関係者が一体となった鳥獣被害防止の取組や侵入防止柵等の整備等の鳥獣被害防止対策を総合的に支援するための国の交付金であり、鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業等として実施。

主な事業内容

1 鳥獣被害防止総合支援事業

- 鳥獣被害対策実施隊等による地域ぐるみの被害防止活動
生息調査、捕獲機材の導入、鳥獣の捕獲、放任果樹の除去等
- 捕獲活動経費の直接支援
- 侵入防止柵の設置費用
- 捕獲鳥獣の処理加工施設、焼却施設等

2 鳥獣被害防止都道府県活動支援事業

- 都道府県が実施する広域捕獲活動、新技術実証活動等

【事業実施主体】

市町村や都道府県のほか、市町村、農林漁業団体、狩猟者団体などで構成する地域協議会等

施設の管理運営

- 事業実施主体は、施設等を常に良好な状態で管理し、必要に応じて修繕等を行い、適正に管理運営
- 地方農政局長及び都道府県知事は事業実施主体に対し、施設の適正な管理運営を指導

事業評価等

- 事業実施主体は、被害防止計画の最終年度の翌年度9月末までに都道府県を通じ地方農政局に事業評価結果を報告
- 被害軽減目標の達成率が70%に達しない場合は、改善計画を提出
- 改善計画実施期間内に被害軽減目標の達成率が70%に達しない場合は、被害防止計画目標を見直し

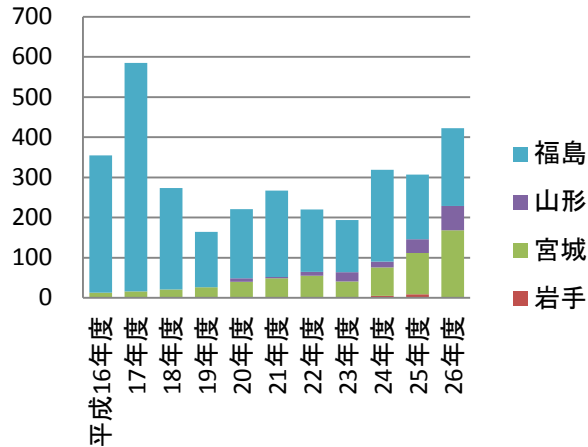
農作物被害実績

図表1 鳥獣(イノシシ)による農作物被害状況(東北6県別)

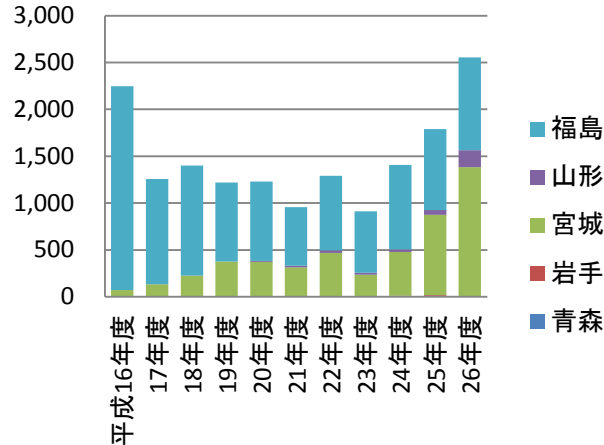
年度	被害面積 (ha)						被害量 (t)						被害金額 (万円)					
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
平成16	0	0	13	0	0	342	3	0	68	0	0	2,177	19	0	1,988	0	0	11,662
17	0	0	16	0	0	569	2	0	130	0	0	1,124	12	0	1,835	0	0	8,725
18	0	0	21	0	0	252	3	0	221	0	0	1,176	18	0	2,464	0	0	8,470
19	0	0	26	0	0	138	0	0	376	0	0	844	0	0	2,895	0	1	6,602
20	0	0	40	0	9	172	0	0	371	0	12	847	0	0	3,930	0	207	6,010
21	0	0	49	0	3	215	0	0	314	0	18	623	0	0	2,847	0	254	5,660
22	0	1	54	0	10	155	0	3	464	0	30	794	0	67	3,318	0	475	5,254
23	0	1	40	0	23	130	0	5	232	0	19	655	0	107	2,673	0	391	4,934
24	0	5	71	0	14	229	0	10	467	0	27	903	0	213	3,876	0	553	6,843
25	0	9	103	0	34	161	0	17	858	0	52	862	0	251	7,707	0	1,177	7,501
26	0	1	167	0	61	193	0	4	1,380	0	179	990	0	75	11,963	0	1,976	9,813

(注) 農林水産省の資料による。

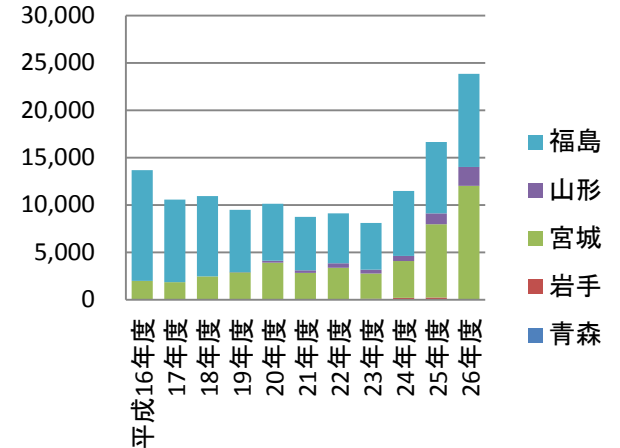
被害面積 (単位: ha)



被害量 (単位: t)



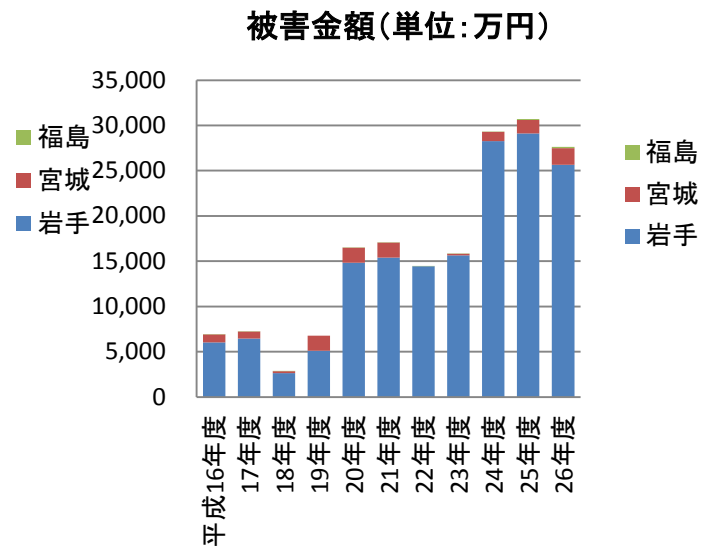
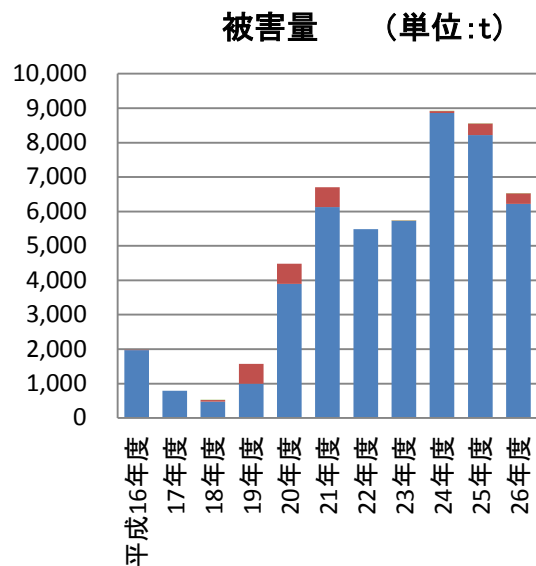
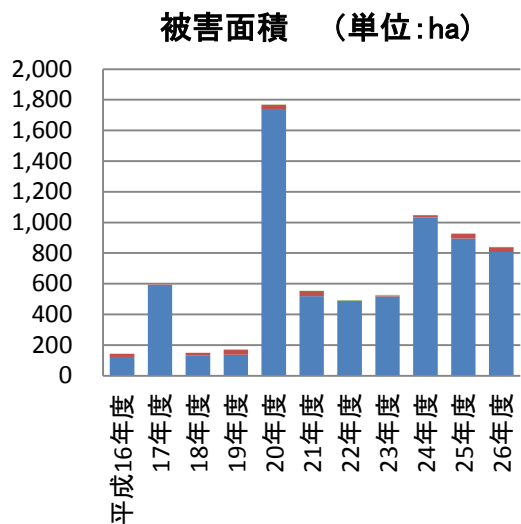
被害金額 (単位: 万円)



図表2 鳥獣(ニホンジカ)による農作物被害状況(東北6県別)

年度	被害面積(ha)						被害量(t)						被害金額(万円)					
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
平成16年度	0	123	21	0	0	0	0	1,969	8	0	0	0	0	6,038	897	0	0	7
17年度	0	585	10	0	0	0	0	794	0	0	0	0	6,457	800	0	0	3	
18年度	0	130	20	0	0	0	0	476	41	0	0	1	2,662	188	0	0	2	
19年度	0	138	33	0	0	0	0	994	577	0	0	0	5,102	1,665	0	0	0	
20年度	0	1,734	34	0	0	1	0	3,900	586	0	0	0	14,827	1,669	0	0	6	
21年度	0	520	32	0	0	2	0	6,123	579	0	0	0	15,393	1,688	0	0	5	
22年度	0	491	0	0	0	3	0	5,489	0	0	0	0	14,447	0	0	0	10	
23年度	0	518	5	0	0	5	0	5,727	6	0	0	1	15,652	162	0	0	20	
24年度	0	1,033	14	0	0	0	0	8,861	60	0	0	2	28,262	1,019	0	0	38	
25年度	0	894	32	0	0	1	0	8,216	337	0	0	5	29,128	1,464	0	0	110	
26年度	0	807	32	0	0	2	0	6,220	308	0	0	7	25,647	1,846	0	0	157	

(注) 農林水産省の資料による。



(参考) 侵入防止柵の管理運営に不備がみられた例

- イノシシ対策用電気柵の支柱が倒れ掛かっているため、電線が地面まで下がっており、イノシシに侵入されるおそれがあるもの



- ニホンジカ等対策用電気柵の電線3本のうちの1本が複数の区間で外れて緩んでいるため、防除効果が不十分となっており、ニホンジカ等に侵入されるおそれがあるもの



- イノシシ対策用電気柵の電線が雑草に覆われているため、漏電により防除効果が薄れ、イノシシに侵入されるおそれがあるもの



- イノシシ対策用電気柵の電線の下段部分と地面の間の隙間が広く、イノシシの幼獣(うり坊)に侵入されるおそれがあるもの (高さ20cm以上で幼獣の侵入が可能)

